

日本光学会平成 16 年度第 174 回幹事会議事録

日 時： 2005 年 1 月 14 日（金） 13：30～17：00

場 所： 機械振興会館地下 3 階研修室 1 号室

出席者： 黒田幹事長，他 49 名

議 事：

1. 前回議事録に関する質問事項

- ・前回議事録は承認された。出版委員会のあり方および国際協力支援助成の件について幹事長より補足説明があった。

2. 報告事項

2-1. 編集委員会関連報告

(1) 「光学」編集報告

- ・出版費用一覧が示された。
- ・平成 17 年度「光学」編集委員会メンバーが提案され、承認された。

(2) 「OPTICAL REVIEW」編集報告

- ・掲載および投稿論文状況が示された。
- ・編集委員長より新幹事に対して OR 編集作業についての概要説明があった。また、OR アーカイブを積極的に活用するようにとのお願いがあった。

(3) 「OPTICAL REVIEW」出版報告

- ・海外頒布権をもつ Springer への電子ファイル転送は、OR サーバーのアクセス権を与え、ダウンロードしてもらうことで行うこととした。
- ・複数の印刷会社から出版費用の見積もりを取り価格交渉中であったが、小宮山印刷が値下げをしてきたので、現状通り小宮山印刷に依頼することとした。
- ・投稿数増加のため、各種広報活動を積極的に行う方針が示された。

2-2. 講演会関連報告

(1) 光学シンポジウム進捗報告

- ・実行委員長より進捗および広報状況について報告があった。30 回の節目であり記念企画を予定している。企画内容については次回常任幹事会で報告する。
- ・会計幹事より予算案が示され、承認された。

(2) OPTICS JAPAN 2004 結果報告

- ・収支報告がなされた。講演件数 309 件、参加者 639 名と盛況であり、2 日間の日程では限界であるとの報告がなされた。

(3) OPTICS JAPAN 2005 進捗報告

- ・講演件数の増加が見込まれるため、開催期間を 2005 年

11 月 23 日～25 日の 3 日間に延長することとした。

- ・前回幹事会で提案のあった委員会名の変更を行った。実行委員会は組織委員会、現地実行委員会は実行委員会とする。
- ・事務局は従来通りアドスリーに依頼する方向で進める。
- ・展示会場はポスター会場に隣接すべきとの意見が出された。
- ・予算案が示され大筋は承認したが、詳細を吟味検討してあらためて次回幹事会で報告することとした。

(4) カラーフォーラム JAPAN 2004 結果報告

- ・収支報告がなされた。参加者は 100 名を超え盛況であった。

(5) 第 38 回光学五学会関西支部連合講演会報告

- ・収支報告がなされた。参加者 41 名で活発な討論が行われ盛況であった。

(6) 平成 16 年度関西講演会結果報告

- ・参加者 55 名で活発な討論が行われ盛況であった。

(7) 平成 16 年度北陸信越講演会結果報告

- ・活発な質疑応答がなされ有意義な講演会であった。

(8) 平成 16 年度名古屋講演会進捗報告

- ・進捗は順調である。講演者の変更が報告された。

(9) 平成 16 年度冬期講習会進捗報告

- ・進捗は順調である。現在参加予定者は 74 名であり、あとは開催を待つのみである。

2-3. その他報告事項

(1) 幹事選挙結果報告

- ・平成 17 年度新任幹事選挙結果が報告された。12 月 13 日開票を行い、幹事会推薦候補者全員が当選となった。

(2) 光学論文賞結果報告

- ・選考委員会委員長より受賞者を下記 2 名とすることが報告された。

小西 毅氏（大阪大学大学院工学研究科物質生命工学専攻）

斎木敏治氏（慶応義塾大学理工学部電子工学科）

(3) 協賛依頼について

- ・全件承認された。

(4) 会員動静

- ・年末は退会者が目立つ時期であり、会員が減少した。

(5) 産学官連携推進事業進捗報告

- ・産学官連携推進事業についての活動概要およびこれまでの成果についての報告がなされた。現在はフェーズ 1 の

中間報告作成を進めているところである。また次フェーズの委員会の進め方について提案を行う予定である。

(6)「光学」と日本光学会 HP への記事掲載の方法について

・「光学」およびホームページへの記事掲載の手続きについて、広報担当幹事から説明があった。

(7) OSJ と SPIE の協定書 (2005-2007) について

・OSJ と SPIE の協定が更新された。OJ での招待講演などで交流を深めたいとの提案が SPIE 側からあることが示された。次期国際担当幹事を中心に検討することとした。

3. 審議事項

3-1. 次期幹事役職決定

・幹事長より次期幹事役割分担案が示され承認された。来年度は電子化担当幹事を新設し、OR 出版委員長は常任幹事とする。

3-2. 平成 17 年度活動計画 (案)

・平成 17 年度年間活動計画案が示された。

3-3. 応用物理学会「中越大地震」会費の免除について

・新潟県中越地震で被災された会員に対して、応用物理学会の規定に準じ、1 年分の会費を免除することが承認された。担当は北陸地区幹事とする。

3-4. 文科省主催「サイエンスキャップ」へのリンクの件

・当会ホームページからサイエンスキャップ WEB サイトへのリンクは承認された。

3-5. 日本光学会監修教科書シリーズについて

・光産業技術振興協会で神谷教授を中心に情報光学の教科書を出版することが検討されてきたが、日本光学会の監修で丸善から出版したい旨打診があり、協議の結果認められた。今後は、幹事会に所属するワーキンググループを立ち上げ、シリーズ化に向けて企画検討することを承認した。

3-6. OJ ベストプレゼンテーション賞 (仮称) の設立について

・来年度より OJ ベストプレゼンテーションを設立することが承認された。審査・選考作業は OJ プログラム委員会の下で行うこととする。

3-7. 国際協力支援金の改定案

・国際担当幹事から改定案が示された。幹事会からは支援基準についていくつかの問題点が指摘された。OR 投稿料補助枠に関しては、投稿料の 9 頁目以降の割増課金がなくなったので、補助金額の上限 8 万円を撤廃し全額補助とすることが承認された。

3-8. OJ2004 ポスター発表の冊子化について

・OJ2004 では各研究グループがロードマップを作成しポスター発表した。その内容をまとめて冊子化し、科学技術振興機構から発行したいとの提案がなされ、承認された。

3-9. 光ナノテクフェア展示ブースの件

・日本光学測定機工業会主催の光ナノテクフェアにおける展示ブースの幹旋活動について、来年度は日本光学会主催の国際会議が企画されていないので辞退することとした。ただし、昨年日本光学会自身のブースを出展し非常に好評であったため、幹旋活動とは切り離して出展するか否かを検討するべきであるとの意見が出された。

3-10. 収支計算書

・平成 16 年 1 月 1 日から 11 月 30 日の収支計算書が示された。

4. その他

議事に先立ち、今年度および来年度幹事の出席者で自己紹介を行った。

平成 16 年度第 3 回常任幹事会

2005 年 3 月 11 日 (金) に応用物理学会会議室において開催されました。「光学」編集報告、「OR」編集・出版報告、冬期講習会実施報告、名古屋講演会実施報告、光学シンポジウム進捗報告、Optics Japan 2005 進捗報告、サマーセミナー進捗報告等がなされました。また、協賛依頼、会員動静、研究グループ活動について報告がなされました。さらに、総会資料、研究グループ補助金申請、メーリングリスト使用に関する内規、OJ ベストプレゼンテーション賞等について審議がなされました。なお、詳しい幹事会議事録は第 34 巻第 7 号に掲載予定です。

平成 16 年度総会

平成 16 年度総会は 2005 年 3 月 30 日 (水) に埼玉大学において開催された。

まず、黒田和男幹事長より幹事長挨拶が行われたのち、今年度の動向についての説明があった。

会員数は、A 会員が 722 名、B 会員が 1131 名、特別会員が 184 口で、ほぼ横ばいの状態で大きな変化はない。年齢別の分布を見ると 40 歳代にピークがある。今後このピークが高年齢側にシフトするだけであると、これは大きな問題で、若い人に魅力のある学会となるよう努力が必要である。

日本光学会では、春秋 (実際には、初夏初冬) に講演会、夏冬に講習会を開いている。第 29 回光学シンポジウムは、

2004年6月17, 18の両日, 早稲田大学国際会議場で開かれた。参加者は361名で, 昨年に比べると若干参加者数が減少したが, 大変盛況であった。

第38回のサマーセミナーは2004年8月20, 21日, 富士山のふもとにある富士教育研修所(静岡県裾野市)を借り, 避暑をかねて山中のリゾート地で開かれた。今回は「3Dディスプレイ～人を感動させる立体表現～」と題し, 立体表現の基礎から, 視覚効果, 実際の応用例まで, 3Dディスプレイに関する話題を幅広く取り上げた。3Dディスプレイの原理は古くから知られているが, 最近2Dディスプレイをはじめとする関連デバイス技術の進歩が著しく, 実用に耐えるレベルの試作機が開発されている。ナイトセッションではこのような試作機の展示があり興味深かった。

2004年11月4, 5日には, 大阪大学コンベンションセンターで日本光学会年次学術講演会(Optics Japan 2004)が開かれた。今回は春名阪大教授を実行委員長とし, 関西在住の委員を中心に会議が企画運営されたが, 「おおぜい大阪においでやす」というキャッチフレーズ通りおおぜいの参加者(講演数309件, 参加者639名)を迎え, 大変盛況であった。プレナリー講演では, アジア各国との連携の強化を意図し, 韓国から講演者を招待した。講演会, 併設の展示会いずれも評判がよかった。

第31回の冬期講習会は, 2005年1月20, 21日, 東京大学山上会館において「光記録の今と未来」というタイトルで開催された。参加者は88名であった。「今」はDVDの次世代機をめぐって2つの陣営がしのぎを削っている最中であり, 実にホットなテーマであった。

このほか, 北海道支部(2004年10月16, 17日), 北陸信越支部(2004年12月17日), 名古屋支部(2005年2月25日), 関西支部(2004年12月2日と12月6日)主催の講演会が開かれた。また, 3次元画像コンファレンス(2004年6月29, 30日)とカラーフォーラムJapan 2004(2004年11月16～18日, 本年は日本光学会が幹事学会)が他学協会との共催で開かれた。

国際関係では, International Commission for Opticsと共催で光学に関する国際会議ICO'04を開催した。ICOの国際会議は毎年数件世界各地で開催されているが, わが国は1964年より10年ごとに会議を組織しており, わが国での開催はこれが5回目となる。これまでは日本学術会議が主催したが, 今回は日本光学会が前面に出ての開催となった。一岡組織委員長, 谷田貝プログラム委員長, 立野実行委員長の下, 日本光学会が総力をあげて運営に携わった甲斐もあり, 成功裏に会議を終えることができた。また, 海外の学会との連携に関しては, SPIEとの契約を延長した。

日本光学会は, 和文誌「光学」と英文誌「Optical Review」を出版している。「光学」は長期にわたり日本学会事務センターに出版業務を委託していたが, 同センターが破産するという前代未聞の不祥事に巻き込まれることになった。三尾出版委員長の適切な判断により, 目まぐるしく変化する困難な事態を無事に乗り切ることができたのは不幸中の幸いであった。結果的には, 発行日を遅らせることはほとんどなく(8, 9月号の遅れは5日ほど), 第33巻の発行を完了でき, 金銭的な被害も生じなかった。10月号から出版業務を学術新報社に移し, 雨降って地固まるの例え通り, 現在では順調に発行されている。また, 将来の電子化を見込んで, PDFファイルの作成も進められている。Web公開の方法について現在検討中である。

英文誌についても本年度は大きな動きがあった。すなわち, その前段階として, 植田編集委員長の尽力により紙版をOCRでPDF化し, 「Optical Review」の電子アーカイブが完成し, 会員限定ではあるが第1巻第1号から最新号までWeb上で閲覧できるようになった。公開に踏み切ったことによりSpringer社との契約も好結果を生んだ。この懸案であったSpringer社との契約も改定し, 新しい契約に移った。近い将来, Springer社を通じて世界的にweb配信がなされるはずである。これらの成果は, 植田編集委員長, 高橋出版委員長の活躍によるものである。

最後に表彰関係について報告する。総会に先立ち平成16年度光学論文賞授賞式が行われ, 小西毅氏(大阪大学)と齋木敏治氏(慶応義塾大学)に授与された。また, 平成16年度日本光学会奨励賞は, Optics Japan 2004において, 安野嘉晃氏(筑波大学)と小林直樹氏(静岡大学)に与えられた。受賞者の更なる活躍を期待したい。

続いて大澤庶務幹事(総務)より平成16年度事業報告および平成17年度事業計画, 江口会計幹事より平成16年度決算報告, および平尾会計幹事より平成17年度予算案が提示され承認された。総会終了後, 小西, 齋木両氏による光学論文賞授賞記念講演が行われた。

なお, 日本光学会の平成16年度事業および平成17年度の計画などに関する情報は, 第34巻第7号の「日本光学会平成16年度年次報告」の中に詳細が掲載される予定である。

第220回「光学」編集委員会

2005年3月9日(水)に, 応用物理学会会議室において開催されました。第34巻第12号と第35巻第1号企画, 第35巻第2～5号の構想案および第35巻第6, 7号担当について審議が行われました。第34巻第2, 3号の発刊後の

反省があり、論文投稿・審査状況、第34巻第2～11号の進捗状況についての報告、会計および幹事会の報告がなされました。また、著者に対する「光学」の購入代金の割引の検討、展望号「光学会の進展」の引用の形式に関する議論が行われました。

臨時「光学」編集委員会

2005年3月30日(水)に、埼玉大学教養学部棟2F-27号室において開催されました。「光学」の総ページ数を増やすための方策、著者からPDFファイルを要望された場合の方針・配布方法、および「光学」の電子化に伴う諸問題等について議論しました。

第30回光学シンポジウム

期 日：2005年6月16日(木)、17日(金)
場 所：早稲田大学国際会議場(井深大記念ホール)
主 催：日本光学会
参加費：早期申込の場合は日本光学会会員2,000円、応物・協賛学協会会員・賛助会員4,000円、非会員(一般)6,000円、非会員(学生)1,000円。早期申込は6/3(金)までの申込に限ります。通常申込の場合は日本光学会会員3,000円、応物・協賛学協会会員・賛助会員5,000円、非会員(一般)7,000円、非会員(学生)1,000円。
申込方法：第34巻第4号に挟み込みの郵便振替用紙をご利用いただくか、当日現金にてお支払いください。
招待講演(順不同、敬称略)：

- 1)「自由曲面プリズムを用いたカメラモジュール光学系の設計・製作・評価について」永田哲生(オリンパス)
- 2)「Off-Axial光学系の近軸・収差論的解析」荒木敬介(キヤノン)
- 3)「Visible Light Communications」中川正雄(慶應義塾大)
- 4)「光技術と情報セキュリティ：光暗号、生体認証、ホログラフィー技術の応用について」山口雅浩(東京工業大)
- 5)「密着複層型PF(位相フレネル)レンズの開発」鈴木憲三郎(ニコン)

問合せ先：(株)リコー画像エンジン開発本部 EP 開発センター OE 開発室 増田浩二
〒143-8555 東京都大田区中馬込1-3-6
電話 03-5742-8858 Fax 03-3777-8178
E-mail: optsympo30@aurora.ocn.ne.jp

詳細につきましては、第34巻第4号に綴じ込みのプログ

ラム案内、または日本光学会ホームページ(<http://annex.jsap.or.jp/OSJ/sympo.html>)のシンポジウム案内をご覧ください。

The Sixth Japan-Finland Joint Symposium on Optics in Engineering (OIE '05) 論文募集

期 日：2005年9月26日(月)～28日(水)
場 所：北海学園大学国際会議場(札幌市豊平区旭町4丁目1-40)
講演申込締切：2005年5月31日
問合せ先：北海学園大学 魚住 純
電話 011-841-1161 (内線7795)
E-mail: uozumi@eli.hokkai-s-u.ac.jp
詳しくは、ホームページ(<http://www.eli.hokkai-s-u.ac.jp/oie05/>)をご覧ください。

視覚研究グループ共催研究会

日 時：2005年5月26日(木)10:00～17:45
27日(金)10:30～15:00
場 所：立命館大学衣笠キャンパス修学館2F第3共同研究会室(京都市北区等持院北町56-1)
<http://www.ritsumeit.ac.jp/mng/gl/koho/annai/profile/access/index.html>
共 催：電子情報通信学会ヒューマン情報処理研究会、映像情報メディア学会ヒューマンインフォメーション研究会、映像情報メディア学会コンシューマエレクトロニクス研究会
参加費：参加費無料。どなたでもご参加いただけます。電子情報通信学会発行の予稿集を会場で販売します。
プログラム：
5月26日(木)午前
1)「物体の能動的操作による視点変換規則の学習促進効果」笹岡貴史、朝倉暢彦、河原哲夫(金沢工大)
2)「AHPによるネイルカラーの感性評価」酒井浩二、川畑綾香、山本嘉一郎(京都光華女子大)
3)「日常物体に対する到達把持運動特性の検討」杉尾武志(同志社大)、乾 敏郎(京大)
4)「注視行動における頭部運動の関与の検討」梅村浩之、松岡克典(産総研)
5月26日(木)午後
5)「表情認識時間の計測と認識過程の検討」鬼丸真一、米村恵一(木更津高専)、杉浦彰彦(豊橋技科大)
6)「情動ストループ課題における反応遅延要因の検討」伊丸岡俊秀、松本 圭、近江政雄(金沢工大)

- 7) 「感情に係る特徴量の検討」直井克也, 松本哲也, 竹内義則, 工藤博章, 大西 昇 (名古屋大)
- 8) 「問題解決における外在化表現のための音の利用—ハノイの塔問題における試み—」城 一裕, 山本恭裕, 中小路久美代 (東京大)
- 9) 「大画面スリット視における文字・図形の収縮率の検討」中村知樹, 工藤博章, 大西 昇 (名古屋大)
- 10) 「VR 内での受動的移動状況下における快適性の評価」渡邊 洋 (産総研), 寺本 涉 (産総研/JSPS), 梅村浩之, 松岡克典 (産総研)
- 11) 「形状知覚における運動とコントラストの統合過程」朝倉暢彦, 吉澤達也, 中山大輔 (金沢工大)
- 12) 「身体動作のための視覚的大きさ判断」羽原啓史 (東工大), 安藤広志 (ATR), 金子寛彦 (東工大)

5月27日(金) 午前

- 1) 「色対比効果の空間要因および輝度依存性」中田和行, 近藤あき, 山本洋紀 (京大), 江島義道 (京都工繊大)
- 2) 「等輝度色刺激を用いた視覚マスキング効果の解析」山城博幸 (京大), 前田青広 (京大/日本学術振興会), 高田まり, 山本洋紀 (京大), 江島義道 (京都工繊大)
- 3) 「白内障による彩度低下防止用照明」篠田博之 (立命館大), 川野 泰, 松原儀明 (吉忠マネキン), 横山光広, 本木 隆, 井上 暁 (クロイ電機)

5月27日(金) 午後

- 4) 「両眼立体視のチャンネル」塩入 諭 (東北大)
- 5) 「単眼視野と両眼視野の境界における奥行き知覚の連続性」藤井芳孝, 金子寛彦 (東工大)
- 6) 「対象と自己の運動方向知覚に関する体の傾きの影響」根岸一平, 金子寛彦 (東工大)

問合せ先: 立命館大学情報理工学部知能情報学科

篠田博之

〒525-8577 滋賀県草津市野路東 1-1-1

電話 077-561-2844

E-mail: hshinoda@is.ritsumei.ac.jp

第4回情報フォトンクス研究グループ研究会

テーマ: 将来の光情報システムの創成にむけて

日時: 2005年5月27日(金) 13:00~17:15

場所: 神戸大学瀧川記念学術交流会館大会議室 (神戸市灘区六甲台町1-1)

交通: 阪急電鉄六甲駅, JR 六甲道駅より徒歩, または, 神戸市バス 36 系統鶴甲団地行, 鶴甲2丁目止まり行き「神大文理農学部前」下車

講演:

13:00 「高分子光材料における光記録とその将来」似内映之 (和歌山大)

14:00 「光速ムービー: 超短パルスレーザーを用いて記録するホログラフィ」粟辻安浩, 山際将具, 駒井和斉, 久保田敏弘 (京都工繊大)

15:15 「空間符号化を利用した情報表示のセキュリティ技術」山本裕紹 (徳島大)

16:15 「光・電子融合型システム」山田憲嗣 (広島工業大)

参加費: 無料

問合せ先: 神戸大学工学部情報知能工学科 仁田功一

〒657-8501 神戸市灘区六甲台町1-1

電話 078-803-6236 Fax 078-803-6390

E-mail: nitta@kobe-u.ac.jp

<http://www.i-photonics.jp/meetings.html>

第10回光波シンセシス研究会「量子情報のための光波シンセシス」

日時: 2005年6月24日(金) 13:00~17:05

場所: 東京大学生産技術研究所 A 棟大会議室 (東京都目黒区駒場4-6-1)

<http://www.iis.u-tokyo.ac.jp/map/index.html>

主催: 日本光学会光波シンセシス研究グループ

プログラム:

13:00 「本研究会について」

13:05 「量子情報処理まできた量子光学」松岡正浩

13:50 「連続変数系の光学的リソース生成法と応用」平野琢也 (学習院大)

14:35 「単一光子やスクィズド光をリソースとして何ができるか?」佐々木雅英 (NICT)

15:35 「量子情報の神秘に迫る今日の光学技術」井元信之 (阪大)

16:20 「光通信研究者からみた量子暗号」井上 恭 (阪大)

参加費: 一般3,000円, 学生1,000円 (ただし日本光学会学生会員は無料)。懇親会の参加費は無料。

定員: 100名

申込: 不要

問合せ先: 東京大学生産技術研究所 第1部 志村 努

電話 03-5452-6139

E-mail: shimura@iis.u-tokyo.ac.jp

<http://qopt.iis.u-tokyo.ac.jp/lws/>

ナノオプティクス研究グループ第14回研究討論会

期 日：2005年7月4日(月)～5日(火)
場 所：慶應義塾大学日吉キャンパス来往舎大会議室
(神奈川県横浜市港北区日吉4-1-1)
主 催：日本光学会ナノオプティクス研究グループ
講演討論内容：一般講演, ショート講演, 招待講演を予定
しています。優れた講演には「ナノオプティクス賞」
を贈呈します。
参加費：2,000円(日本光学会会員), 500円(学生),
5,000円(その他)
講演申込締切：2005年5月27日(金)
申込・問合せ先：慶應義塾大学理工学部電子工学科
齋木敏治
〒223-8522 横浜市港北区日吉3-14-1
電話 045-566-1784 Fax 045-566-1529
E-mail: saiki@elec.keio.ac.jp

詳しくは、ホームページ (<http://www.nano-optics.jp/>) を
ご覧ください。

レーザー顕微鏡研究会第31回講演会ならびにワークシ ョップ

期 日：2005年6月29日(水)～7月1日(金)
場 所：理化学研究所(埼玉県和光市広沢2-1)
主 催：レーザー顕微鏡研究会
ワークショップ 6月29日(水)～30日(木)
内 容：「レーザー顕微鏡を使いこなすための基本」講義と
実習
申込方法：以下のホームページよりお申込みください。
<http://sml.me.es.osaka-u.ac.jp/jslm/index.html>
事前参加申込締切：2005年6月10日(金) 先着50名
参加費：事前登録15,000円, 6月11日(土)以降20,000
円, 学生10,000円。講演会・懇親会参加費を含む。
問合せ先：ライカマイクロシステムズ(株) 鈴木 博
電話 03-5435-9605

E-mail: hiroshi.suzuki@laica-microsystems.co.jp

講演会 7月1日(金)
内 容：一般講演およびシンポジウム「ナノバイオイメ
ージングの世界—中村 収先生の業績とともに」
参加費：一般会員2,000円(年会費), 賛助会員1,000
円。懇親会参加費を含む。
申込方法：A4用紙1～2ページのアブストラクトを問合
せ先までご送付ください。
申込締切：2005年5月23日(月)
問合せ先：静岡大学工学部 川田善正
電話 053-478-1069
E-mail: kawata@eng.shizuoka.ac.jp

新入会員

個人

会員番号	氏名	所属
A 6103521	松坂 慶二	コニカミノルタオプト(株)
6103522	藤代 一朗	コニカミノルタオプト(株)
6103523	小林 恭	有限会社トリプレット
6103524	岩崎 正則	ソニー(株)
B 0031055	小久保岳人	(株)ピーエスピー
0053005	堀江 晴彦	(株)キャノンオプトロン
0064274	黒川 要一	物質・材料研究機構
0066600	足立 要人	オリンパス(株)
0066606	嶋本 篤	(株)ナノテックス
0066625	間辺 雄二	(株)日立製作所

特別会員

会員番号	団体名
7100336	(株)紀伊國屋書店

日本光学会 news の掲載申込み先：

〒184-8501 小金井市貫井北町4-1-1 東京学芸大学教育学部物理学科 植松晴子
電話 042-329-7480 Fax 042-329-7480 E-mail: uematsu@u-gakugei.ac.jp

なお、掲載申込みは原則として発行日(10日)から2か月前の15日まで、開催日が1～10日の場合
は、開催日の3か月前の15日までをお願いします。

日本光学会平成17年度幹事 (*常任幹事)

幹事長:	黒田 和男* (東京大)	立野 公男* (日立)
副幹事長:	小箆香椎子* (日本女子大)	
前幹事長:	山本 公明 (オリンパス)	
庶務幹事:	井出 昌史* (シチズン)	吉田 文昭* (コニカミノルタオプト)
	江口 勝* (ペンタックス)	豊田 晴義* (浜松ホトニクス)
	大友 晋哉* (古河電工)	鬼頭 勤* (日本電信電話)
	植松 晴子* (東京学芸大)	山本雄一郎* (東芝)
『光学』編集幹事:	三尾 典克* (東京大)	門野 博史 (埼玉大)
『OR』編集・出版幹事:	植田 憲一* (電通大)	高橋 信明* (防衛大)
国際協力幹事:	大津 元一 (東京大)	小西 毅 (大阪大)
産学協力幹事:	岡田 英史 (慶応義塾大)	藪本 浩利 (旭硝子)
将来問題担当幹事:	辻岡 強 (大阪教育大)	三宅 隆浩 (シャープ)
電子化担当幹事:	的場 修 (神戸大)	
事業・企画担当幹事:	有本 英伸 (産総研)	岡嶋 克典 (横浜国立大)
	鈴木 貞一 (富士ゼロックス)	近江 雅人 (大阪大)
	仲間 健一 (日本板硝子)	矢口 博久 (千葉大)
	氏家 知子 (ニコン)	増田 浩二 (リコー)
	本多 徳行 (キヤノン)	宮崎 大介 (大阪市大)
	高橋 進 (凸版印刷)	岡本 淳 (北海道大)
	松浦 祐司 (東北大)	安達 正明 (金沢大)
	藤原 巧 (長岡技大)	西澤 典彦 (名古屋大)
	野村 孝徳 (和歌山大)	岩田 哲郎 (徳島大)
	入江 正浩 (九州大)	
